

120 番の歌 キリストの温和さに敬う

人を心から敬うには

「尊ばれることは銀や金に勝る」。

格言 22:1 多くの富よりも良い名(*良い評判/d名)を選べ。 尊ばれることは銀や金に勝る。

ポイント：人を心から敬うことが大切なのはどうしてか、 敬うのが難しいとき何ができるか学びます。

1. 私たちはどんな接し方をしてもらいたいと思うものですか。 (格言 22:1)

人から敬意のこもった接し方をしてもらうと、 うれしく思いませんか。 大切に扱われたいと思うのは自然なことです。 尊敬されていることが分かると、 頑張ろうという気持ちになれます。 聖書には「尊ばれることは銀や金に勝る」とあります。 (格言 22:1 (上記) を読む。)

2-3. 人に敬意を込めて接するのが難しいことがあるのはどうしてですか。

2 ほかの人に敬意を込めて接するのが難しいこともあります。 どうしてでしょうか。 例えば、 相手の欠点が気になることがあります。 また、 人を見下したり軽く扱ったりする風潮に影響されることもあります。 それでも、 私たちはいつも人に敬意を払いたいと思います。 エホバが私たちに、「あらゆる人を敬」ってほしいと思っているからです。 (ペテー 2:17 あらゆる人を敬い、 信仰で結ばれた兄弟たち全員を愛し、 神を畏れ、 王を敬ってください。)

3 この記事では次の点を考えます。 ①人を敬うとはどういうことでしょうか。 ② (1) 家族、 (2) クリスチャンの仲間、 (3) エホバの証人ではない人」に敬意を込めて接するにはどうしたらいででしょうか。 ③ そうするのが難しいとき何ができるでしょうか。

人を敬うとはどういうことか

4. 人を敬うとはどういうことですか。

4 人を敬うことには、 その人をどう見るか、 その人にどう接するかということが関係しています。 誰かの素晴らしい人柄や成し遂げた事、 果たしている役割などについて考えると、 その人への尊敬の気持ちが湧いてきて、 それは接し方に表れます。 大事なのは、 心からの尊敬の気持ちで相手を大切にすることです。 (マタ 15:8 この民は唇で私を敬うが、 心は私から遠く離れている)

5. 私たちが人を敬いたいと思うのはどうしてですか。

5 エホバは私たちに人を敬ってほしいと思っています。 「上位の権威」に敬意を払うように、 とも言っています。 (ロマ 13:1 全ての人は上位の権威に従わなければなりません。 神によらない権

威はないからです。存在する権威は神によって相対的な地位に据えられています、7 全ての者に、差し出すべきものを差し出してください。税を求める者に税を納め、支払いを求める者に支払いをし、恐れることを求める者を恐れ、敬意を求める者を敬うのです。) でも、「相手が尊敬できる人なら敬いますよ」と言う人もいます。本当にそれでいいんでしょうか。私たちが誰かを敬うのは、単にその人が立派だからというわけではありません。もっと大事な理由があります。エホバを愛し、エホバに喜んでもらいたいからです。 (ヨシュ 4:14 その日エホバはイスラエル全体の前でヨシアを重んじた。民はモーセに深い敬意を示した(d*を恐れた)ように、ヨシアにもその一生の間、深い敬意を示した。ペテー 3:15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんのおく希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準備しておきましょう。語る時には、温和な態度と深い敬意を示しましょう。)

6. 自分に敬意を払ってくれない人にも敬意を込めて接することができる、といえるのはどうしてですか。(挿絵も参照。)

6 でも、こう言う人たちもいます。「こちらに敬意を払ってくれない人に敬意を込めて接する」となんてできるんだろうか。聖書に出てくる人たちのことを考えてみましょう。ヨナタンは、父親のサウル王からみんなの前で侮辱されました。(サムー 20:30-34 サウルはヨナタンに激怒し、言った。「この反逆的な女の息子め、おまえがエッサイの子の肩を持って自分の恥と母親の恥をさらしていることを、私が知らないでも思っているのか。31 エッサイの子が地上に生きている限り、おまえの王権が確立されることはないんだぞ。誰かを遣わしてあいつを連れてこせろ。殺してやる」。32 ヨナタンは父サウルに言った。「なぜ彼が殺されなければいけないのでしょうか。彼が何をしたというのですか」。33 するとサウルはヨナタンを刺そうとやりを投げ付けた。それでヨナタンは、父がダビデを殺すつもりであることを知った。34 すぐにヨナタンは怒りに燃えて食卓から立ち上がった。その日は何も食べなかった。ダビデのことで気を乱されていたのである。父が彼を辱めたからである。) それでもサウルと一緒に戦い、サウルが死ぬ日までサポートし続けました。(出 20:12 父と母を敬いなさい。そうすれば、あなたの神エホバが与える土地で長く生きられる。サム二 1:23 サウルもヨナタンも生涯ずっと愛され、大切にされた(*朗か)らかだった)。死ぬ時も2人は離れなかった。ワシよりも速く、ライオンよりも強かった。) ハンナは、大祭司エリから酔っていると誤解されて責められました。(サムー 1:12-14 ハンナはエホバの前で長く祈った。その間、エリは彼女の口元を見ていた。13 ハンナは心の中で話していたので、唇が震えているだけだった。声が聞こえなかったため、エリは彼女が酔っていると思った。14 エリは言った。「いつまで酔っているのか。ぶどう酒を飲むのをやめなさい」。) しかもエリは、父親としても大祭司としても、みんなの信頼を失っていました。(サムー 2:22-24 エリは非常に年を取っていた。彼は息子たちがイスラエル全体に対してしていた全てのことを聞いていた。会見の天幕(*)の入り口で仕える女性たちと寝ていたことについても聞いていた。23 息子たちにこう言っていた。「なぜそのようなことをしているのだ。民の皆から、あなたたちについて悪いことを聞いている。24 息子たち、それはいけないことだ。エホバの民の間に良くないわざが広まっている。私もそれを聞いた。) それでもハンナはエリに敬意を込めて話しました。(サムー 1:15-18 ハンナは答えた。「酔っているのではございません。私はひどく思い悩んでいるのです。ぶどう酒などは飲んでおりません。ただ、エホバに気持ちを全てお伝えしているのです。16 私をどうしようもない女のように見ないでください。あまりに苦しくてつらいので、今まで祈つ

ていたのです」。17 エリは言った。「安心して行きなさい。あなたが願い求めたことをイスラエルの神がかなえてくださいますように」。18 ハンナは言った。「これからも私のことを良く思つてくださいますように」。彼女はそこを離れて、食事をした。もう沈んだ顔ではなかった。）パウロも、アテネの人たちから「おしゃべり」呼ばわりされましたが、誠実に相手を褒めました。（使徒 17:18 しかし、エピクロス派とストア派の哲学者のある人たちがパウロと議論するようになった。「このおしゃべりは何を言おうとしているのか」と言う人や、「彼は外国の神々を広める者らしい」と言う人がいた。イエスと復活の良い知らせを広めていたからである、22 パウロはアレオパゴスの真ん中に立って、こう言った。「アテネの皆さん、私は皆さんがどんな点でも信心深いのを見ました。神々への畏れを他の人たちよりも抱いています。）」こういう例から、自分を親切に扱ってくれない人にも敬意を込めて接することはできる、ということが分かります。エホバを心から愛し、エホバを悲しませたくないという強い気持ちがあれば、そうできます。では、誰に対して敬意を込めて接するべきか、それが大切なのはどうしてかを考えましょう。



ヨナタンは父親のサウル王から侮辱されたが、サウルと一緒に戦い、サポートし続けた。（6節を参照。）

家族を敬う

7. 家族に敬意を払うのが難しいことがあるのはどうしてですか。

7 難しいのはどうしてか。家族とは長い時間一緒にいるので、長所も短所もよく知っています。家族の誰かが病気やストレスのせいで気難しくなったり、ネガティブな気持ちになったりしているかもしれません。嫌なことを言ったりしたりすることもあります。家族に失礼な態度を取って、家庭を居心地のいい場所にするどころか、息が詰まるような場所にしてしまう人もいます。ちょうど関節が痛むと体をスムーズに動かせなくなるように、家族がお互いに冷たい態度を取っていると、仲良く協力し合うのが難しくなります。ずきずきと痛む関節は簡単には治せないかもしれません、家族のぎすぎすした雰囲気は和らげることができます。敬意のこもった接し方を心掛けることによってです。

8. 家族を敬うことが大切なのはどうしてですか。（テモテ第一 5:4, 8）

8 大切なのはどうしてか。（テモテ第一 5:4）しかし、やもめに子供や孫がいるなら、彼らに次のことを行ってください。まず自分の家族を世話をすることによって神への専心を示し、親や祖父母から受けた恩に報いるべきである、ということです。これは神に喜ばれることです、8 もしもあ

る人が、自分の家族、特に一緒に住んでいる人たちに必要な物を与えないなら、クリスチャンの信条を否定することになり、信仰のない人より悪いといえます。を読む。) パウロはテモテへの第一の手紙の中で、家族がどのようにお互いを気遣い、支え合えるのかを書いています。そのように家族を敬うのは、単に義務感からではなく、「神への専心」を表したいと思っているからです。「神への専心」とは、エホバを心から愛して捧げるエホバへの崇拜や奉仕を指しています。家族という制度を作ったのはエホバです。(エフェ 3:14, 15)このような訳で、私は父に向かってひざまずきます。15 その方によって、天と地の全ての家族(*氏族)が存在するようになります。) それで家族の一人一人を敬うなら、エホバを敬っていることになります。家族に敬意のこもった接し方をするのが本当に大切だと分かります。

9. 夫と妻がお互いを敬うにはどうしたらいいですか。(写真も参照。)

9 敬うにはどうしたらいいか。夫は妻を大切に思っていることが伝わるような接し方をします。2 人でいる時も、みんなの前でもです。(格 31:28) 彼女の子供たちは立ち上がって彼女を褒め、夫も立ち上がって称賛する。ペテー 3:7 同じように、夫の皆さん、知識に基づいて(*思いやりを示しつつ/理解を示しつつ)妻と暮らしてください。女性はより繊細な器ですから、妻を大切に(*尊重)しましょう。妻たちも皆さんと一緒に、命という惜しみない恵みを受けるのです。妻を大切にするなら、祈りが妨げられることはないでしょう。) 妻に手を上げたり、ばかにしたり、自分は駄目なんだと思われたりはしません。アルゼンチンに住むアリエル兄弟はこう言っています。* 部の名前は変えてあります。「妻は病気のせいで、とても傷つくようなことを言うことがあります。でもそんな時は、これは妻の本心じゃない」ということを思い出すようにしています。空気がぴりつく時はコリント第一 13 章 5 節下品な振る舞いをせず、自分のことばかり考えず、いら立ちません。愛は傷つけられても根に持ちません。の言葉を考えます。そうすると、皮肉っぽく言い返したりしないで、優しく敬意を込めた接し方をしようと思えます。(格 19:11) 洞察力があればすぐ怒ることはない。過ち(*違反)を見過ごす(d*通り過ぎる)人は美しい。) 夫を敬う妻は人前で夫を褒めます。(エフェ 5:33) ともかく、夫の皆さんはそれぞれ、自分を愛するように妻を愛さなければなりません。一方、妻は夫を深く敬うべきです。) 嫌みを言ったり、けなしたり、小ばかにしたりはしません。そういうことをすると、結婚の絆にひびが入ってしまうと分かっているからです。(格 14:1) 本当に賢い女性は自分の家庭を築き上げ、愚かな女性は自分の手で家庭を破壊する。) イタリアのある姉妹はこう言っています。「夫は不安や心配に襲われることがよくあって、ちょっと大げさ過ぎるんじゃないかと思う時もあります。前はそういう気持ちがすぐ顔や言葉遣いに出ていました。でも、仲のいい友達がいつもほかの人のことを良く言うのを見て、自分の夫への態度について考えさせられました。もっと夫に敬意を払わないと、と思いました」。



家族に敬意のこもった接し方をすれば、家族という制度を作ったエホバを敬っていることになる。(9 節を参照。)

10. 子供はどのように親を敬えますか。

10 子供はどんなふうに親を敬えるでしょうか。親が決めた家族の決まりを守るようにします。
(エフェ 6:1-3) 子供は、主に喜ばれるよう親に従ってください。そうするのは正しいことです。2
「父と母を敬いなさい」とあり、これは約束を伴う最初の命令です。3 「そうすれば物事はうまくいき(*そうすれば成功し)、地上で長く生きられる」という約束です。) 親に敬意のこもった話
し方をしましょう。(出 21:17) 父や母をののしる(*に災いがあるようにと言う)人は必ず死刑にさ
れる。) 親は年を重ねていくと、子供からのサポートがもっと必要になります。できることは何
でもしてあげましょう。マリア姉妹の父親はエホバの証人ではありません。姉妹は病気になった
父親をよく世話しましたが、父親は姉妹につらく当たりました。姉妹は振り返ってこう言っています。
「『お父さんことを尊敬し、その気持ちを表せるようにしてください』とエホバに祈りました。
エホバが親を敬うようにと言っているのであれば、必ずそうできるように助けてくれる
はずだ、と自分に言い聞かせました。たとえお父さんの態度が変わらないとしても、いつも敬意
を表すのは大切だということが分かってきました」。欠点が気になってしまって家族を敬うなら、家族
という制度を作ったエホバを敬っていることになります。

クリスチャンの仲間を敬う

11. 仲間に敬意を込めて接するのが難しいことがあるのはどうしてですか。

11 難しいのはどうしてか。兄弟姉妹はみんな聖書の教えの通りにしようと頑張っています。それ
でも時には、仲間から不親切なことをされたり、誤解されたり、いらいらさせられたりすること
があります。そういうことのせいで仲間に「不満を感じると」、敬意を込めて接するのが難しく
なります。(コロ 3:13) 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感
じるとしてもです。エホバが寛大に許してくださったのだから、同じようにしなければなりません。)
そんな時、どうしたらいいでしょうか。

12. ク里斯チャンの仲間を敬うのが大切なのはどうしてですか。(ペテロ第二 2:9-12)

12 大切なのはどうしてか。(ペテロ第二 2:9-12) ですからエホバ(*)は、神への専心を示す人々をど
のように試練から救い出すかを知っています。また、正しくない人々を処罰の日にどのように確
実に滅ぼすかも知っています。10 中でも特に、他の人の体を汚そうしたり、権威を侮ったり(*
主人を見下したり)する人々です。偽りを教える人たちは強情でふてぶてしく、栄光ある人たち
を悪く言うことを恐れません。11 天使たちは、偽りを教える人たちより強さも力も勝っています
が、エホバ(*)に敬意を抱いているので(*の前で)、彼らを悪く言って訴えたりはしません。12 しかし、
偽りを教える人たちは、自分が知らない事柄について悪く言います。捕らわれて殺されるた
めに生まれ、本能的に行動する、理性のない動物のようです。自分の破壊的な行いによって破滅
に至り、を読む。) ペテロは第二の手紙の中で1世紀のクリスチャン会衆に、「栄光ある人た
ち」つまり長老たちに不敬なことを言う人たちがいる、と書きました。そういう様子を見て天使
たちはどうしたでしょうか。「エホバに敬意を抱いて」いたので、その人たちを悪く言うことは
しませんでした。考えてみてください。完璧な天使たちでさえ、そういう思い上がった人たちに

について厳しいことを言つたりせず、エホバがその人たちを処罰することを信じてエホバに全て任せました。（ロマ 14:10-12 それなのに、あなたはなぜ兄弟を批判するのですか。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになります。 11 こう書かれているからです。 「エホバは言う。『生きている私自身に懸けて誓う。全ての人は私に向かってひざまずき、神への確信を言い表す(*全ての膝は私に向かってかがみ、全ての舌は神への確信を言い表す)』」。 12 私たち一人一人は、神に責任を問われることになるのです。ユダ 9 天使長ミカエルは、モーセの体のことで悪魔と意見が分かれて論じ合った時、あえて断罪することも悪く言うこともせず、「エホバ(*)があなたを叱責されますように」と言いました。と比較。）天使たちから学べることがあります。不敬な人たちにも失礼な態度を取らないのであれば、ましてエホバを愛する兄弟姉妹には敬意のない態度を取るべきではない、ということです。逆に、仲間を「自分の方から進んで」敬いたいと思います。（ロマ 12:10 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょう。自分の方から進んで人を敬ってください。）そうすればエホバを敬っていることになります

13-14. 会衆の仲間をどのようにして敬えますか。（写真も参照。）

13 敬うにはどうしたらいいか。長老たちが愛の気持ちから兄弟姉妹を教えるのは大切です。（ヨイレ 8, 9 それで、私はキリストの名によって少しも気後れすることなく、あなたが行うべき事柄を命じることもできますが、9 そうはせずに愛に基づいてお願いしたいと思います。年を取り、今はキリスト・イエスのために捕らわれている私パウロが、）誰かを正す時も、腹立ち紛れにではなく、優しく穏やかにします。姉妹たちも、良くないうわさ話や中傷に加わらないなら、会衆のお互いを尊敬し合う和やかな雰囲気に貢献できます。（テト 2:3-5 同じように年長の女性も、神を畏れる人にふさわしい振る舞いをし、中傷せず、酒に溺れず、善いことを教えるべきです。4 そうすれば、若い女性に次のことについて助言を与えられる(*意識させることができる/訓練を施せる)でしょう。夫を愛すること、子供を愛すること、5 健全な考え方をすること、貞潔であること、家事をこなすこと、善良であること、夫に従うことです。そのように行動すれば、神の言葉が悪く言われることはないでしょう。）私たちはみんな、長老たちに敬意を払いたいと思います。長老たちは集会で話をし、先頭に立って伝道し、「道を踏み外した」人たちを助けています。そのように一生懸命働いている長老たちに協力し、感謝を表すなら、長老たちを敬っていることになります。（ガラ 6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されないように注意してください。テモ一 5:17 立派に監督している長老たち、とりわけ一生懸命に話したり教えたりしている人たちは、深い(d*2倍の)敬意を受けるに値します。）

14 ロシオ姉妹は、自分にアドバイスした長老のことを嫌いになってしまいました。こう言っています。「なんであんな言い方するんだろうと思いました。家ではその兄弟のことを悪く言っていました。態度には出さないようにしていましたが、『私のことを良く思っていないから、あんなことを言ったんだ』と決め付けてアドバイスも無視していました」。姉妹が変わったのはどうしてでしょうか。「テサロニケ第一5章 12, 13節 兄弟たち、次のことをお願いします。皆さんの中で一生懸命に働き、主に仕えつつ皆さんを監督し助言を与えている人たちに、敬意を払ってください

い。 13 そして、よく働いているその人たちに愛と深い思いやりを示してください。誰とでも平和な関係でいるようにしましょう。を読んでいた時、はっとしました。私は兄弟に敬意を払っていないんだということに気付いて、心が痛みました。エホバに祈って、考え方を変えられるよう、いろいろ資料を調べました。問題は兄弟ではなくて私だと気付きました。もっと謙虚になれば人を敬えるようになる、ということも分かってきました。まだまだ努力中ですが、頑張っている私をエホバが喜んでくれていると思います」。



一生懸命働いている長老に協力し感謝を伝えることで、長老に敬意を払える。
(13-14 節を参照。)

エホバの証人 ではない人を敬う

15. エホバの証人ではない人を敬いにくいことがあるのはどうしてですか。

15 **難しいのはどうしてか。** 伝道していると、聖書に興味がない人によく会います。 (エフェ 4:18 彼らは思考が闇に覆われていて、神による命から遠く離れています。神について知ろうとせず、心が無感覚だからです。) **子供の頃から教わってきたことのせいで**、私たちの話に全く聞く耳を持たない人もいます。職場や学校には、気難しい上司や先生がいるかもしれません。同僚やクラスメートも、いい人ばかりというわけではないでしょう。そういう人たちにも敬意を込めて接するべきだと分かってはいても、だんだん親切な接し方ができなくなってしまうことがあります。

16. エホバに仕えていない人にも敬意を込めて接するのが大切なのはどうしてですか。 (ペテロ第一 2:12; 3:15)

16 **大切なのはどうしてか。** 覚えておきたいのは、私たちがエホバの証人ではない人にどう接するかを、エホバはよく見ているということです。ペテロは、私たちの立派な行動を見て「神をたたえる」ようになる人がいる、と言いました。それで、自分の信じていることを話す時は「温厚な態度と深い敬意を示」すように、とも言っています。 (ペテロ第一 2:12 世の人々の中でいつも立派に行動してください。そうすれば人々は、皆さんを悪人だと非難していても、皆さんの立派な行動を見て、検分の日に神をたたえるようになるでしょう; 3:15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんの抱く希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準

備しておきましょう。語る時には、温かな態度と深い敬意を示しましょう。を読む。) 裁判で自分の信条について語る時も、近所の人に聖書について話す時も、いつもエホバが見ていることを忘れずに、敬意を込めて話すようにします。エホバは私たちが何を言うか、どんな言い方をするかに注目△しています。そのことを考えると、エホバの証人ではない人にも深い敬意を払いたいと思うのではないでしょか。

17. エホバの証人ではない人たちをどのように敬えますか。

17 敬うにはどうしたらいいか。伝道で、聖書についてあまり知らない人に会うことがあります。そういう人に、自分は見下されていると思われたくありません。私たちはそういう人たちを、エホバにとって大切な人、自分より優れた人△、と考えたいと思います。 (ハガ 2:7 『また、私はあらゆる国を振り動かす。あらゆる国の貴重な(*好ましい)ものが入ってくる。私はこの家を栄光で満たす』と、大軍を率いるエホバは言う。フィリ 2:3 対抗心を抱いたり、自己中心的になったりしてはなりません。謙遜になり、自分より他の人の方が上だと考えてください。) 自分が信じている事をばかにされたとしても、嫌みを言ったりして言い返したりはしません。 (ペテー 2:23 侮辱され(*ののしられ)ても、仕返しをしたりしませんでした。苦しめられても、相手を脅迫したりせず、正しく裁く方に自分を委ねました。) 後悔するようなことを言ってしまった時には、すぐに謝りましょう。職場ではどうですか。誰も見ていなくても一生懸命働き、職場で会うどんな人に対しても気持ちよく接しましょう。 (テト 2:9, 10 奴隸である人は、全ての点で主人に従い、喜ばれるように努めるべきです。口答えをせず、10 盜むこともせず、全く信頼できることを示すなら、あらゆる面で、私たちの救い主である神の教えを飾ることになるでしょう。) そうやって正直によく働けば、きっと感謝してもらえるでしょう。たとえ感謝されなくても、エホバが必ず喜んでくれます。 (コロ 3:22, 23 奴隸である皆さん、いつも自分の主人に従ってください。単に人を喜ばせようとして、主人が見ている時にだけ従うではありません。誠実な心で、エホバを畏れつつ従いましょう。23 何をしていても、人のためではなくエホバのためにするように、自分の全てを尽くして行いましょう。)

18. 人を心から敬うのが大切なのはどうしてですか。

18 この記事で考えてきたように、人を心から敬うのは本当に大切なことです。①家族に敬意のこもった接し方をする時、家族という制度を作ったエホバを敬っていることになります。②仲間の兄弟姉妹を大切にするなら、天のお父さんエホバを敬っていることになります。③エホバの証人ではない人たちに敬意を払うなら、その人たちもいつかエホバをたたえるようになるかもしれません。」こちらがどんなに敬意を込めて接しても、相手は同じようにはしてくれないかもしれません。でも、忘れないでください。エホバはこう約束しています。「私を敬う人は私に尊ばれる」。 (サムー 2:30 それでイスラエルの神エホバは言う。「私は確かに、あなたの家系の人とあなたの父祖の家系の人はいつまでも私に仕える(d*の前で歩む), と言った」。しかし今、エホバは宣言する。「もうそのようにはならない。私を敬う人は私に尊ばれ、私を侮る人は軽んじられるからだ」。)

どうすれば敬えますか

1. 家族を

- ・S09 2人でいる時も、みんなの前でも、配偶者を大切に思っていることが伝わるような接し方をする。配偶者に手を上げたり、ばかにしたり、自分は駄目なんだと思わせたりはしない。皮肉っぽく言い返したり、嫌みを言ったり、けなしたり、小ばかにしたりせず、引き続き敬意を培う努力をする。人前で誉める。
- ・S10 子供は親が決めた家族の決まりを守り、親に敬意のこもった話し方をする。親がエホバの証人ではなく、厳しい態度を取ったり、欠点が気になったとしても、いつも敬意を表す。

2. クリスチャンの仲間を

- ・S13 ①長老たちが愛の気持ちから兄弟姉妹を教え、誰かを正す時も、腹立ち紛れにではなく、優しく穏やかに正すよう努める。②姉妹たちも、良くないうわさ話や中傷に加わらず、会衆のお互いを尊敬し合う和やかな雰囲気に貢献する。③一生懸命働いている長老たちに協力し、感謝を表す。

3. エホバの証人ではない人を

- ・S17 伝道で、聖書についてあまり知らない人に会っても、私たちはそういう人たちを、エホバにとって大切な人、自分より優れた人、と考えたい。自分が信じている事をばかにされたとしても、嫌みを言って言い返したりしない。後悔するようなことを言ってしまった時には、すぐに謝るようとする。職場では誰も見ていなくても一生懸命働き、職場で会うどんな人に対しても気持ちよく接し正直に働く。そうすれば感謝してもらえ、たとえ感謝されなくても、エホバに喜んでいただける。

129 番の歌 決して負けない 最後まで

△一部の名前は変えてあります。

△ (格 22:1) 多くの富よりも良い名*を選べ。 尊ばれることは銀や金に勝る。

または、「良い評判」。直訳、「名」。

△ (格 22:1) 多くの富よりも良い名*を選べ。 尊ばれることは銀や金に勝る。

または、「良い評判」。直訳、「名」。

△ (格 22:1) 多くの富よりも良い名*を選べ。 尊ばれることは銀や金に勝る。

または、「良い評判」。直訳、「名」。